

平成30年度 認定こども園めぐみ幼稚園 学校評価報告書

重点課題・自己評価項目		具体的な取り組み内容	取り組み状況	30年度を振り返って	
1	教育・保育環境の充実	<p>1-1 (教育保育計画)</p> <p>○例年行っている保育や行事にとらわれることなく、より現在の子どもの育ちに必要なものを検討し取り入れていくとともに、新教育・保育要領を念頭に置き、教育保育内容の見直しを図る。</p> <p>○新園舎・園庭の使い方を工夫し、子どもにとって望ましい環境・遊びを工夫する。</p> <p>○異年齢の交流を通して、一人ひとりが年齢や発達に応じたコミュニケーション力を高める。</p>	<p>○教育保育内容の見直し 実践したうえで子どもの様子を見ながら、内容の見直しをする。</p> <p>Y Y競技会・名人戦、サマースクール、運動会、遠足、発表会等、例年行っている内容にとらわれることなく、その時の子ども達にあわせた内容になるよう、協議していく。</p> <p>○新園舎・園庭の使い方について 新園舎のサークル・多目的室やホールを有効に使い、ヨコミネを午前中で済ませて、午後は自由な時間にあてる。</p> <p>・バギー…学年ごとに約束を決めて、免許証の発行等。</p> <p>・遊具…ルールを決めてわいYキッズ等で発信。</p> <p>・ボルダリング…ルールを決めて、張り紙し、行事等の際にも安全を心掛ける。</p> <p>・ホール…各学年の体操の環境づくりを写真や図ではり、共有し、スムーズに入れ替わるようにする。</p> <p>○異年齢交流について 『なかよしグループ』</p> <p>・昨年同様、異年齢のなかよしグループを組む。</p> <p>・れんげ組とたんぼぼ組は6月～交流開始。</p> <p>『わいYキッズのあそび』</p> <p>・わいYキッズの時に異年齢交流として、ゲームや手遊びなどを通して交流し、楽しめる時間を作る。</p>	B	<p>・バギーやボルダリング、遊具については、ルールを決めていたが、有効活用がなかなかできていなかったため、引き続き、来年度の課題として、取り組み、遊びの展開やつながりを作りたい。</p> <p>・わいYキッズや行事を通して、異年齢の交流が深まり、よかった。</p> <p>・午後の時間を自由ににあてたことで、クラス活動に余裕が持てて、よかった。</p> <p>・新たな行事や内容の見直しを図り、より子どもたちが楽しめる活動ができた。</p> <p>・園舎やホール、サークルなど、各クラスが有効に使えていた。</p>
	1-2(教材管理)	<p>○絵本の入れ替えや整理、子どもたちが興味を持てる環境構成を行うとともに、教材等の整理整頓を行い、使いやすいスペースとなるよう、心掛ける。</p>	<p>①学期ごとに絵本の入れ替えを行う。月末に担当が絵本のチェック、教室内のスペース等の整理整頓の確認を行う。(クラスの整理整頓ががんばり表を職員室に掲示する。)</p> <p>②なかよしサークルの絵本の整理、作業室の教材等の整理を行い、使い方を改善が必要な時はその都度、子どもたちや職員に報告する。</p>	A	<p>教室や様々な場所の整理整頓を見直し、意識して努めるようにした。</p> <p>・絵本の入れ替えができていなかった。</p>
2	教職員の資質向上	<p>○経験豊富な教師による若年層教師への指導の充実を図るとともに個々の役割、職務内容により、個別研修を重ね、積極的に職務にあたる。</p> <p>○一人ひとりが、学園の一員として、交流等を通して、相互理解を図るとともに協力体制を築く。</p>	<p>①毎月新人研修を行い、新人職員の資質向上につなげていく。</p> <p>②職員一人ひとりが意識を高め合えるよう、それぞれの意見を交換できるように、毎月アンケートを記入。学期末には、それぞれ表彰を行う。</p> <p>③職員の交流を深めるために、スポーツ大会等を開き、交流を深める。</p> <p>④各行事ごとに担当と協力して、よりスムーズに行事が行えるようにする。(日常保育でも)</p>	A	<p>・毎月のアンケート毎学期の自己評価を通して、自分を客観的にみるきっかけになって、よかった。</p> <p>・アンケートは、書きづらいところもあったが、他の先生の保育から学んだり、保育者として改善すべき点や自信にもつながった。</p> <p>・職員旅行を通して、親睦が深まり、とてもよかった。</p>
	安全管理体制の充実	<p>3-1 (安全対策)</p> <p>○園内外の安全管理や安全教育に関し、園児・職員ともにルールを明確化し、共通理解と連携の強化を図る。</p> <p>○避難訓練や安全指導等、形式化したものにならないよう、必要な訓練、必要な非難の仕方など、どんな状況にも園児・職員ともに対応できる訓練を実践する。</p> <p>3-2 (保健衛生)</p> <p>○事故や怪我、感染症などの知識・対応の研修を充実させ、職員間の共通理解を深めるとともに保健だより等を通して、家庭と連携し、健康な生活に必要な習慣とリズムを身につける。</p> <p>○常に清潔で季節感の感じられる気持ちの良い園舎を心掛ける。</p>	<p>①園庭・遊具の点検 (大型遊具は完成次第決定) →担当が行う</p> <p>②園内外の危険箇所確認</p> <p>③バス点検 (嘔吐処理グッズ、ティッシュ、清掃、危険箇所)</p> <p>→何かあれば担当に伝えてもらう。</p> <p>④避難訓練 (地震、火災、不審者など)</p> <p>①事故や怪我などの対応の仕方を職員間で共通理解を深めるために実践に踏まえた研修を行う。</p> <p>②季節ごとに保健だよりを発行し、流行の感染症や子どもたちの健康づくりに関する情報を発信する。</p> <p>③園内に季節に応じた装飾をし、子どもたちが季節を感じられるようにする。</p>	B	<p>毎月の訓練で子どもたちもルールが定着してきた。</p> <p>訓練での課題の解決法も都度、話し合いができてよかった。</p> <p>・バスなど様々な点検ができていて、よかった。</p>
3	食育・アレルギーの充実	<p>○食に関する行事について (芋ほり等) 原材料に触れる機会や由来などを伝えたり、植物栽培を通して、楽しみながら学ぶ環境構成を検討する。</p> <p>○アナフィラキシー症状やアレルギーについての知識・対応の研修を充実させるとともに、対象児の報告等を徹底し、職員間で共通理解を深める。</p>	<p>★みんなで芋畑を作る。</p> <p>①食に関する行事について、シアターを行う。</p> <p>②アレルギー関係等の研修、実演については右図で、月の職員会議で行い、全職員が共通理解していく。</p> <p>③アレルギー、熱性けいれんのある園児の顔写真を各掲示する。</p> <p>④アレルギー等の対象児については、月ごとに担任に確認して (変更等) 月末の職員会議で報告する。</p> <p>⑤嘔吐時の対応セットを各園児トイレ、各バスに設置。</p>	A	<p>・芋の栽培計画から収穫まで、行えてよかった。次年度に向けて、草取り等の管理も子どもたちと計画的に行いたい。</p> <p>・アレルギー研修を月1回行うことで、実践などを通して、常に注意を払うことができた。</p> <p>・季節行事のシアターを通して、子どもも楽しみながら食について学ぶことができた。</p>
	子育て支援・保護者対応	<p>○ホームページやブログを通して、日々の保育や子どもの様子をわかりやすく掲載することで、保護者に教育内容の理解を図るとともに家庭との連携を図る。</p> <p>○行事等の終了後保護者アンケートを実施し、保護者の声を園の運営に反映させる。</p>	<p>①ブログなどの更新は、毎週月曜日に行い、(たんぼぼ・ゆり)、あ8ひまわり)、(さくら)などの順で、その週ごとに掲載する各学年からカメラで撮った子どもの活動、行事、遊んでいる様子等の写真とその写真に対するコメントを掲載する前の週の金曜日までに提出してもらう。</p> <p>②保護者参加の幼稚園行事の終了後は、保護者に向けての○×形式のアンケートを実施、集計し、職員会議で内容を協議し、次へつなげる。また、運動会や発表会などの大きな行事では、集計した内容を手紙にし、保護者に配布する。</p>	B	<p>・ブログの更新を定期的に行うことで園の様子 (教育内容や活動) が保護者に伝わった。</p> <p>・アンケート結果を通して、他のクラスの様子や今まで気づけなかった課題などが把握でき、よかった。</p>

評価の基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が「力」ではない
D	取り組みが不十分である